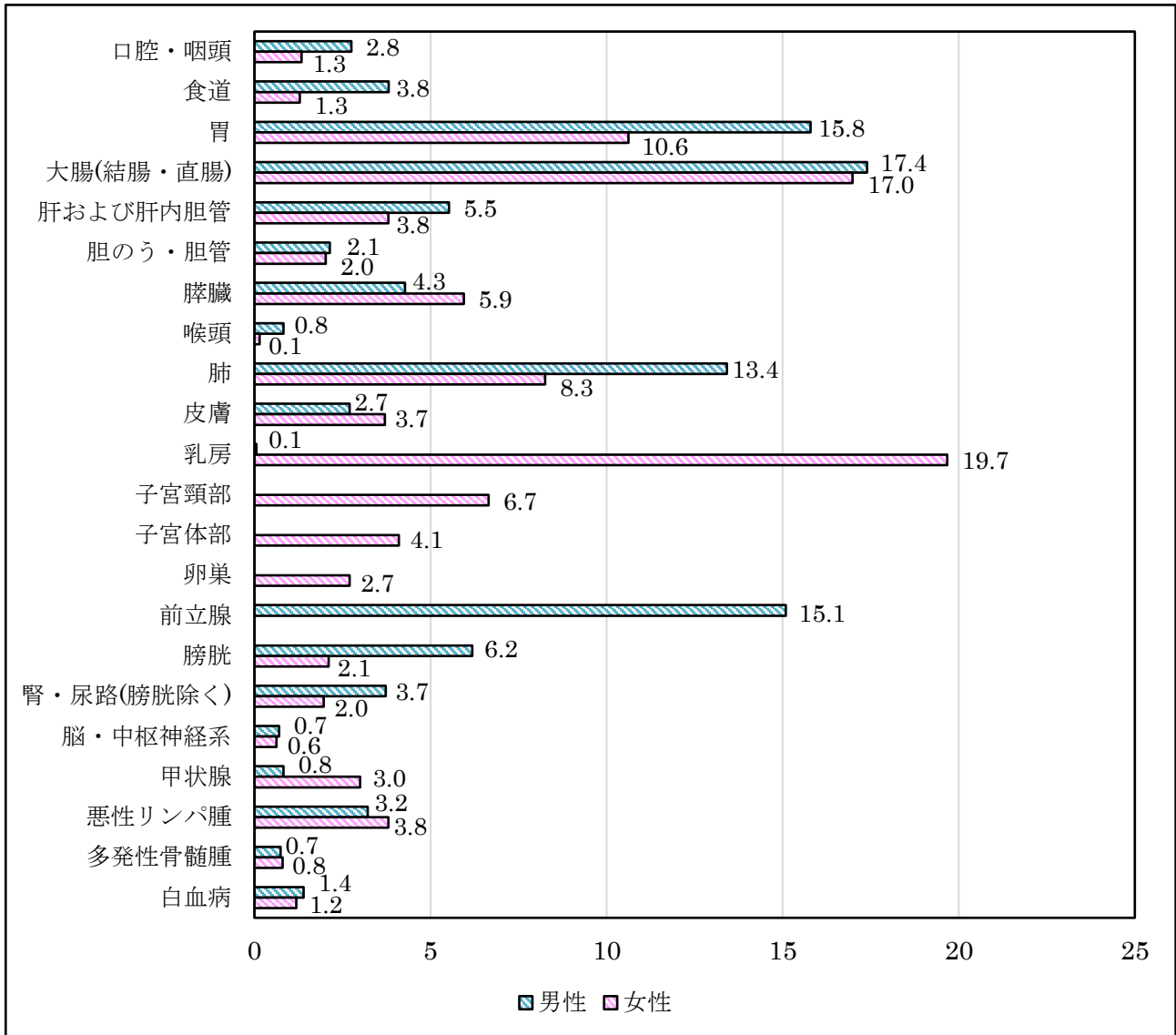


罹患割合(%)：部位別・性別

男性の罹患割合では大腸（結腸・直腸）がんが最も多く、次いで胃がん、前立腺がん、肺がんとなっている。女性で最も多いのが、乳がんであり、次いで大腸がん（結腸・直腸）、胃がん、肺がんと続く。

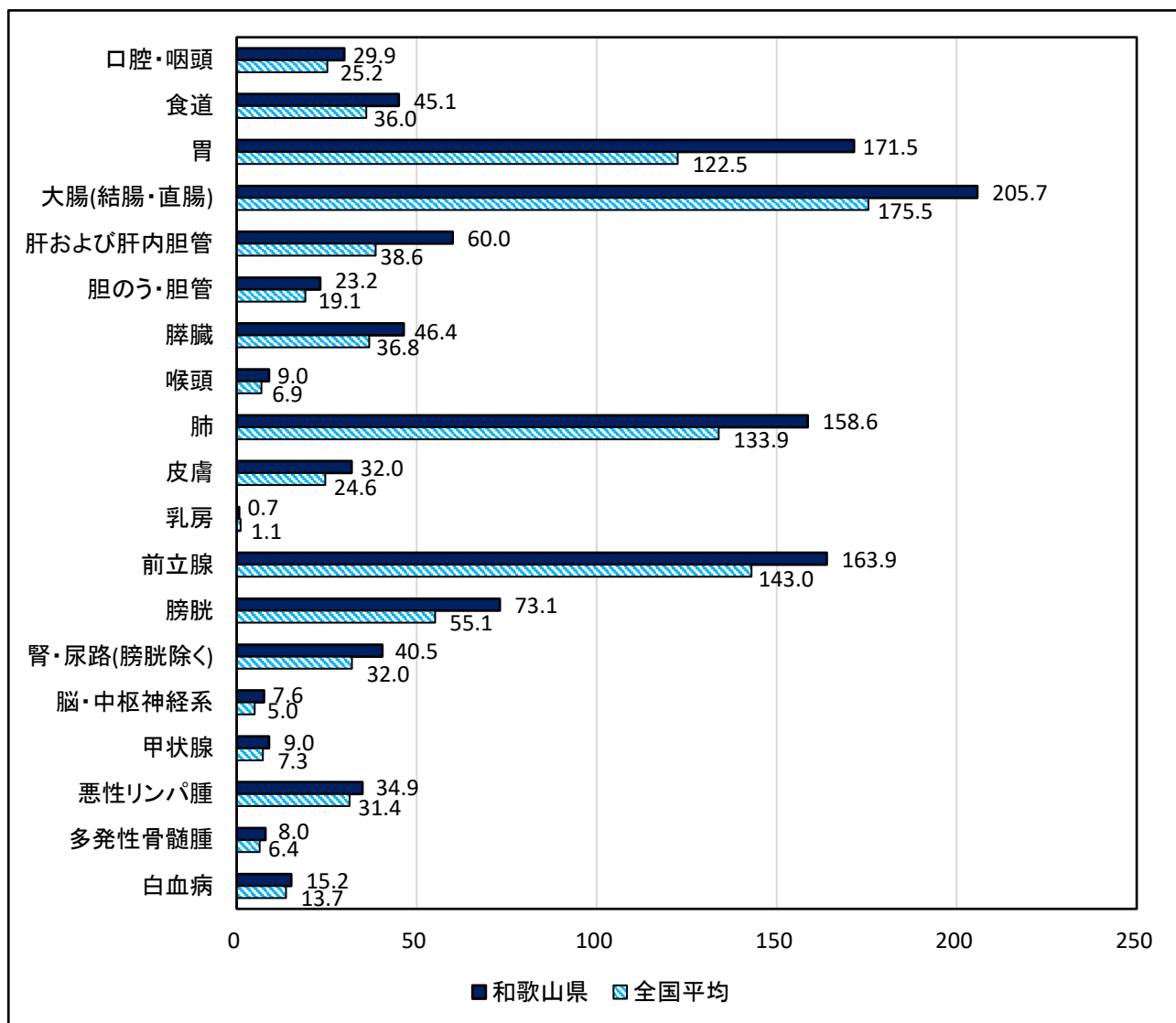


※ 大腸の内訳：(男性) 結腸 11.3、直腸 6.1 (女性) 結腸 12.0、直腸 5.0

※ 標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（人口 10 万人対）：男性・和歌山県と全国平均との比較

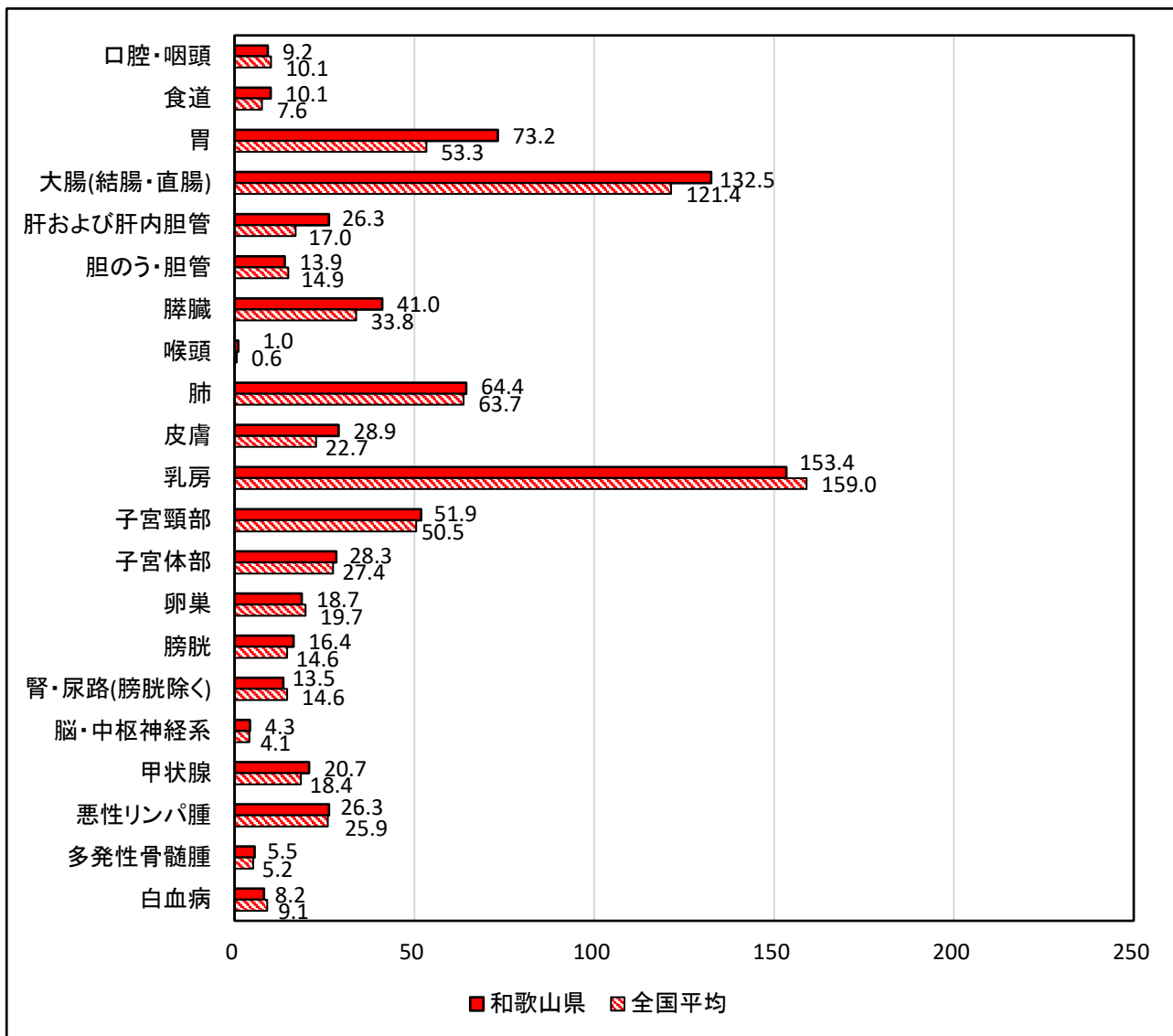
全国平均との比較で見ると、男性ではほぼすべての部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肺がん、前立腺がんが顕著に高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（人口 10 万人対）：女性・和歌山県と全国平均との比較

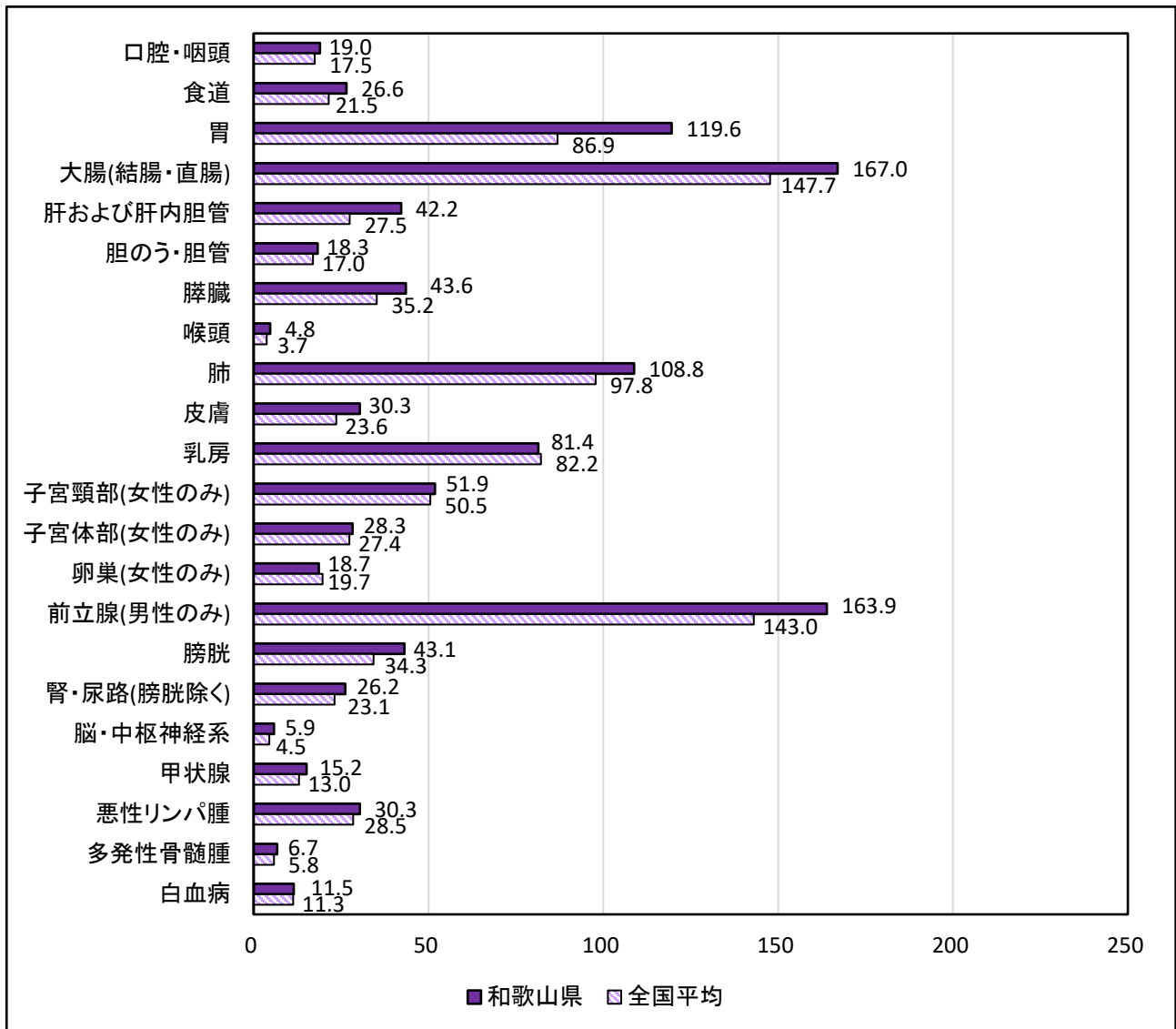
全国平均との比較でみると、女性でもほとんどの部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、が高くなっている。また、乳がん、卵巣がんは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（人口 10 万人対）：男女計・和歌山県と全国平均との比較

全国平均との比較で見ると、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肺がん、前立腺がんなどで、全国平均より高い粗罹患率となっている。また、乳がんは全国平均より低くなっている。

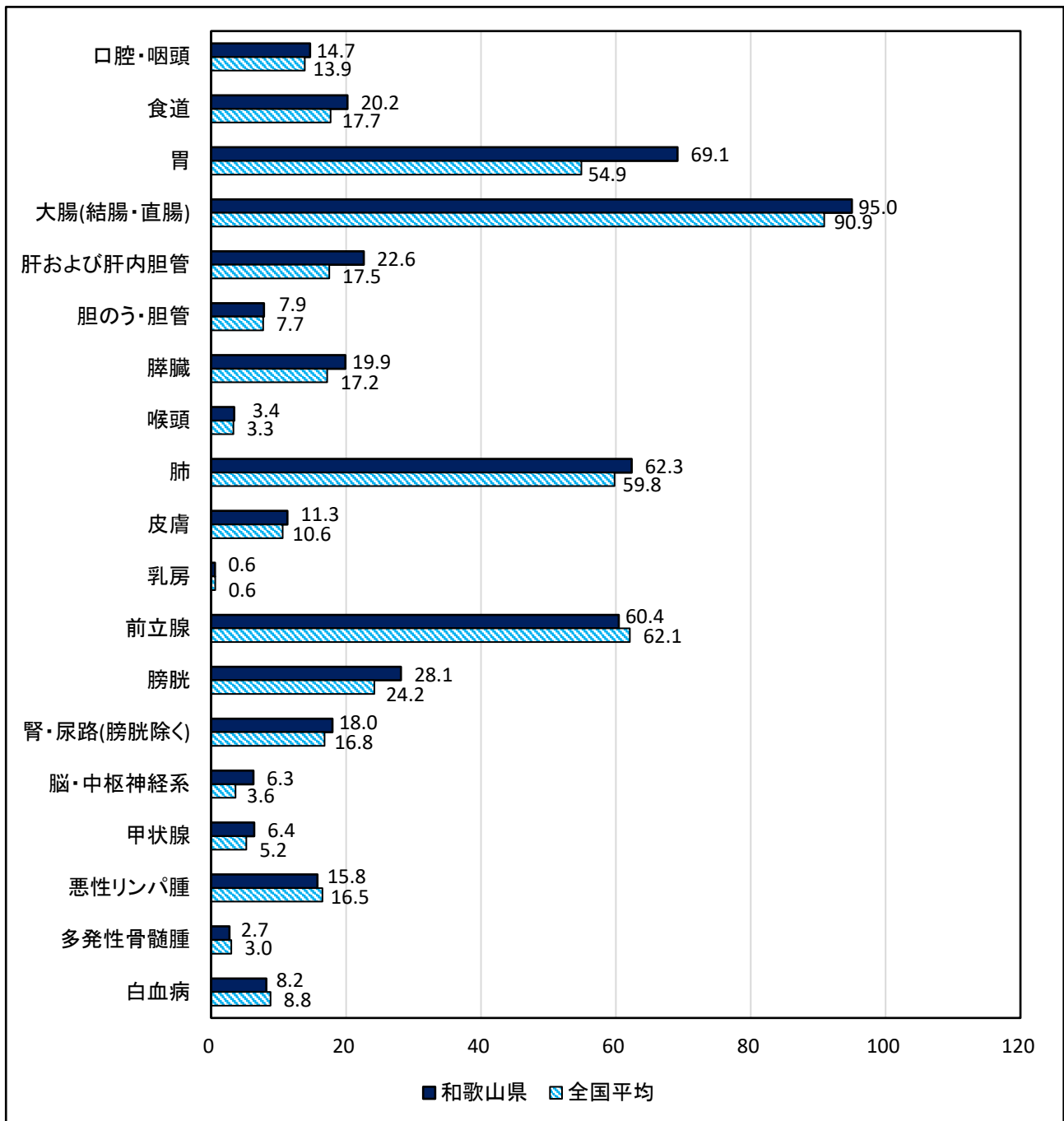


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（人口 10 万人対）：男性・和歌山県と全国平均との

比較

男性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べると全国平均との差は縮まっているが、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肝および肝内胆管がん、肺がんは、調整後も全国平均より高くなっている。また、前立腺がんは全国平均を下回っている。

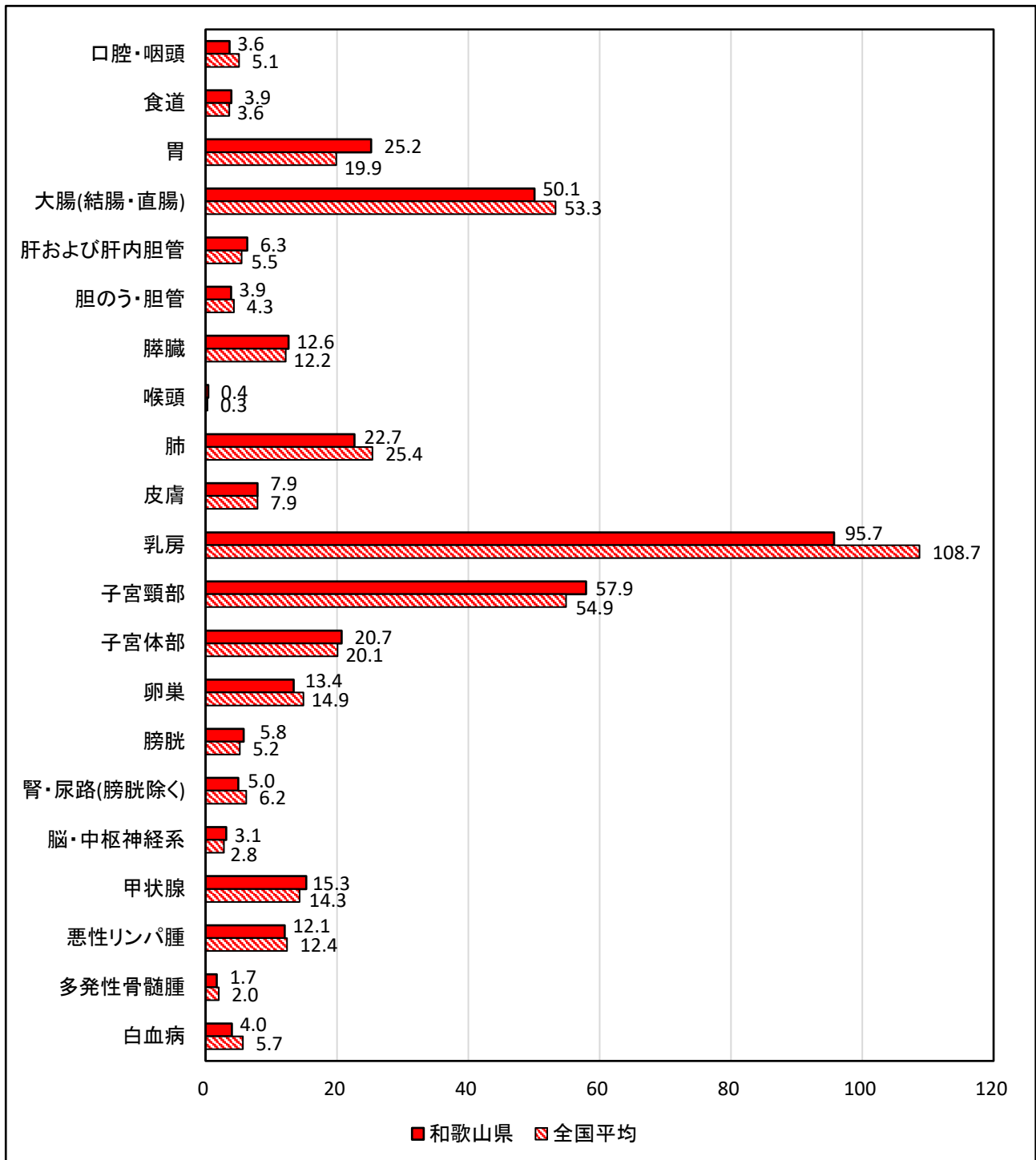


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（人口10万人対）：女性・和歌山県と全国平均との

比較

女性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、大腸（結腸・直腸）がん、肺がんは全国平均を下回り、胃がんは全国平均との差が縮まっている。

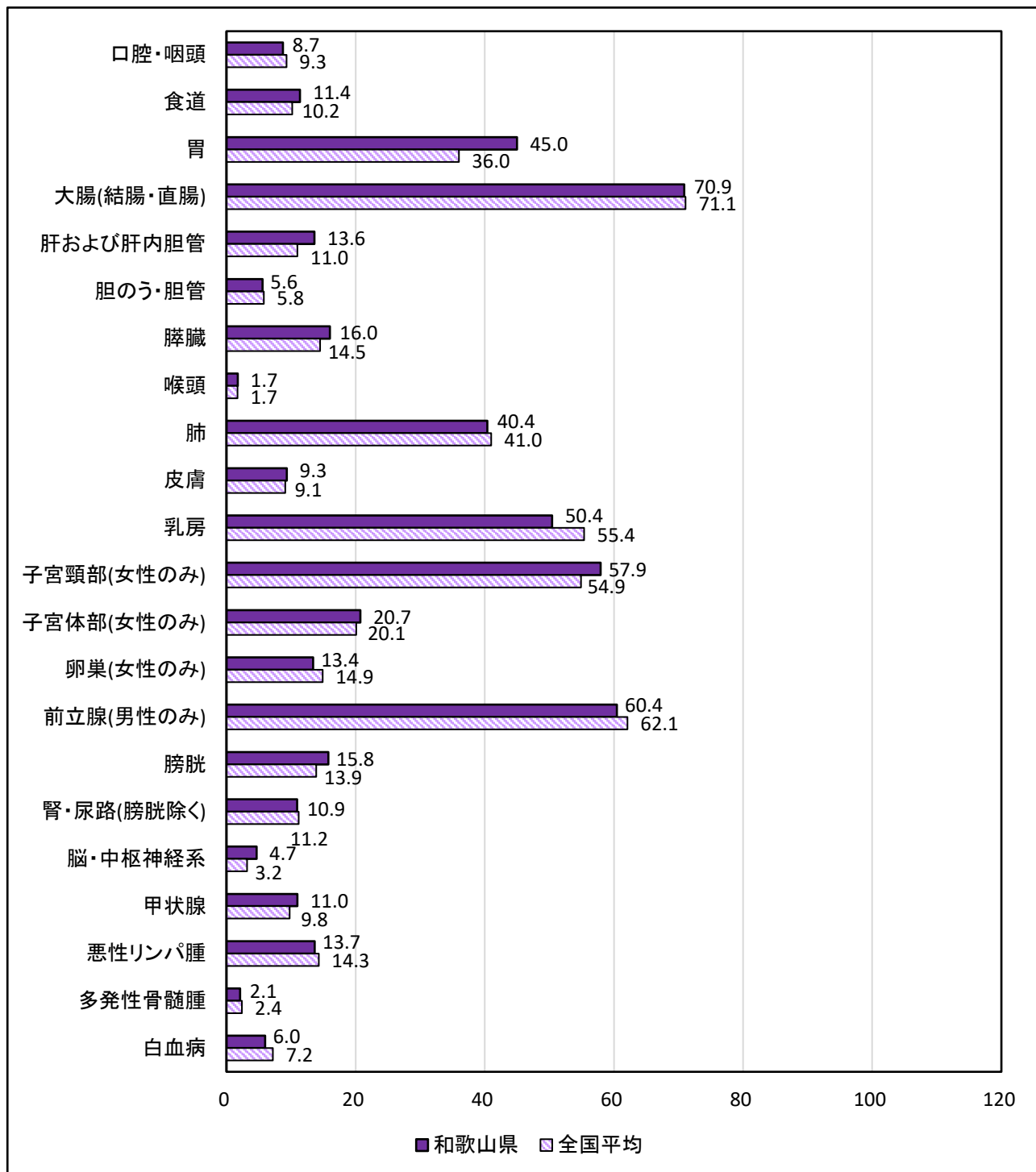


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表1-A、1-Bから作成

部位別年齢調整罹患率（人口10万人対）：男女計・和歌山県と全国平均との

比較

男女計の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、大腸（結腸・直腸）がん、前立腺がん、肺がんは全国平均を下回り、胃がんは全国平均との差が縮まっている。

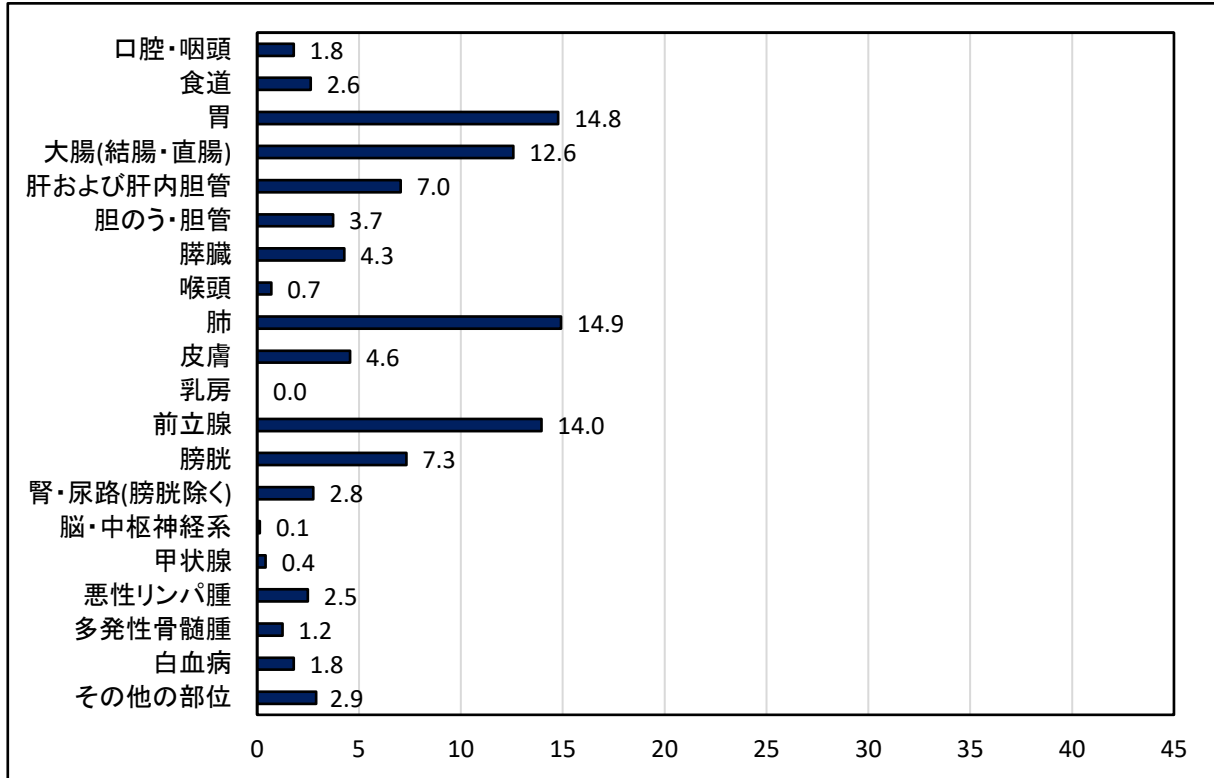


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表1-A、1-Bから作成

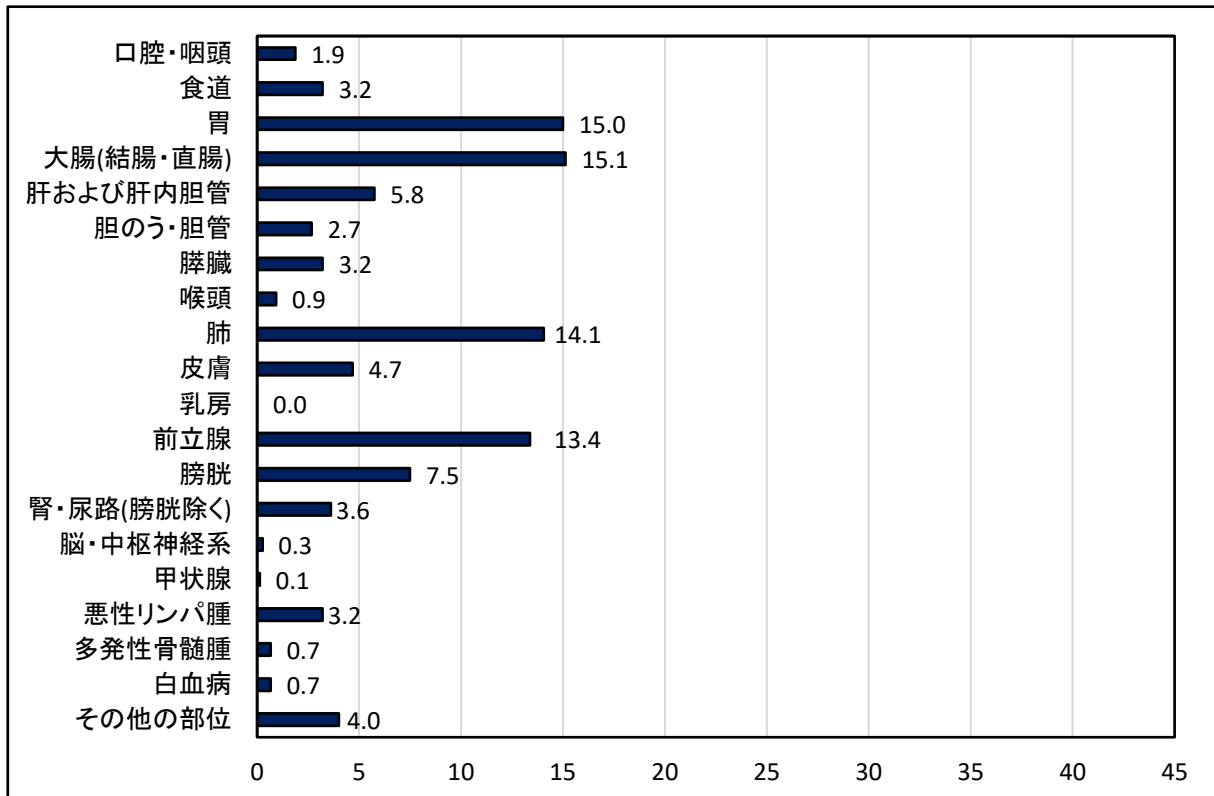
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、肺がん、胃がん、前立腺がんの順に高く、80-84 歳では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

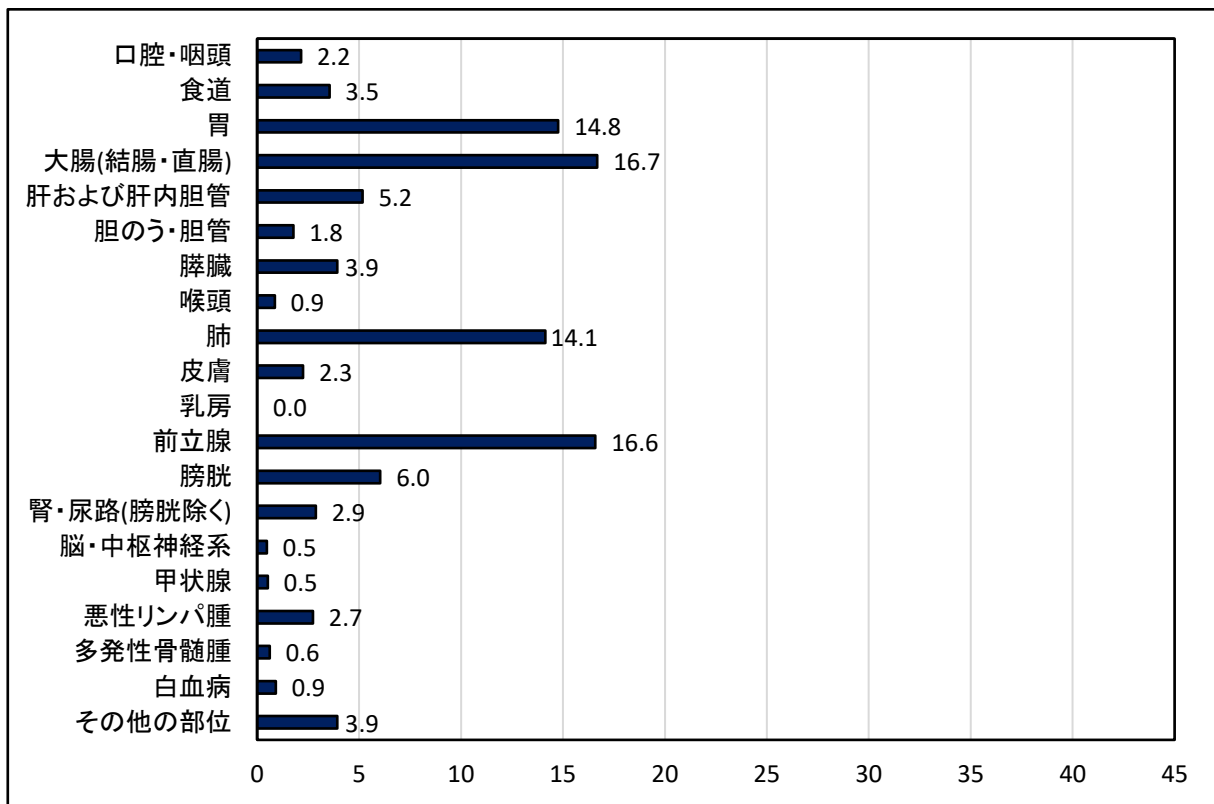


【80-84 歳】

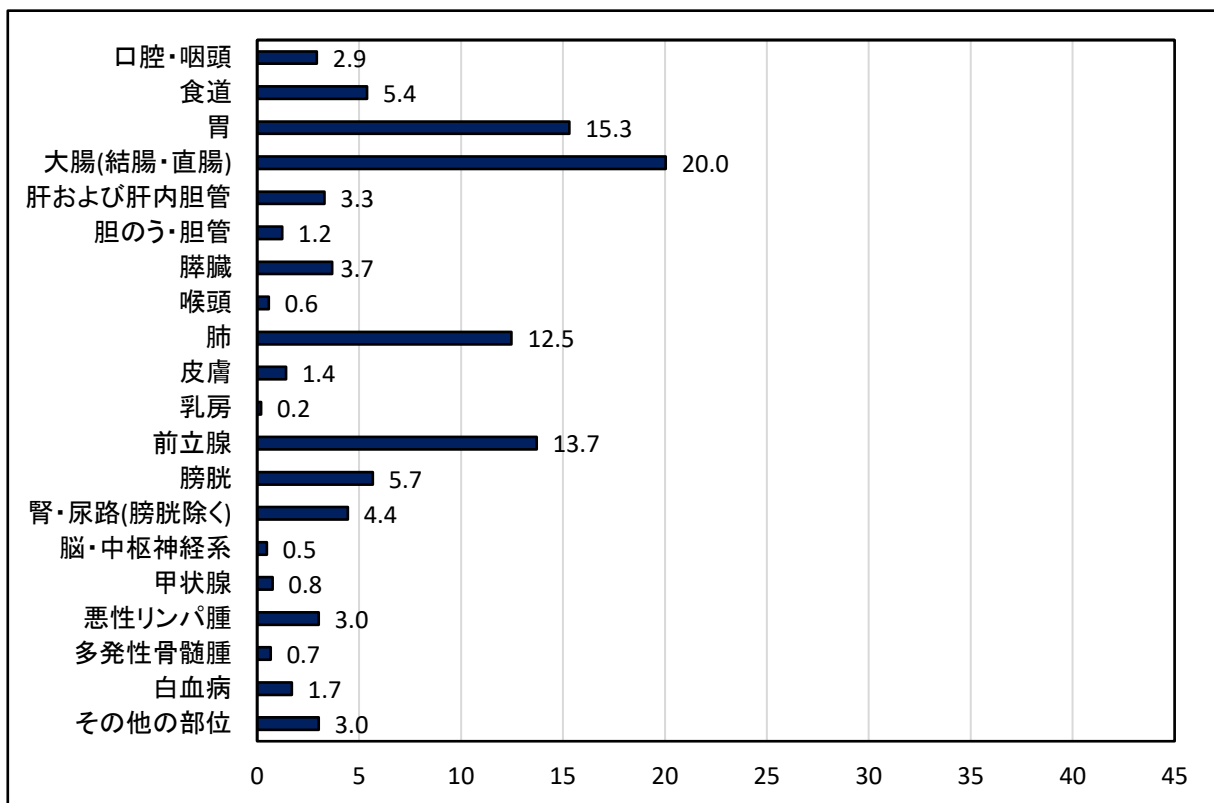


70代では大腸（結腸・直腸）がん、前立腺がん、胃がんの順に高く、60代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、前立腺がんの順に高くなっている。

【70-79 歳】

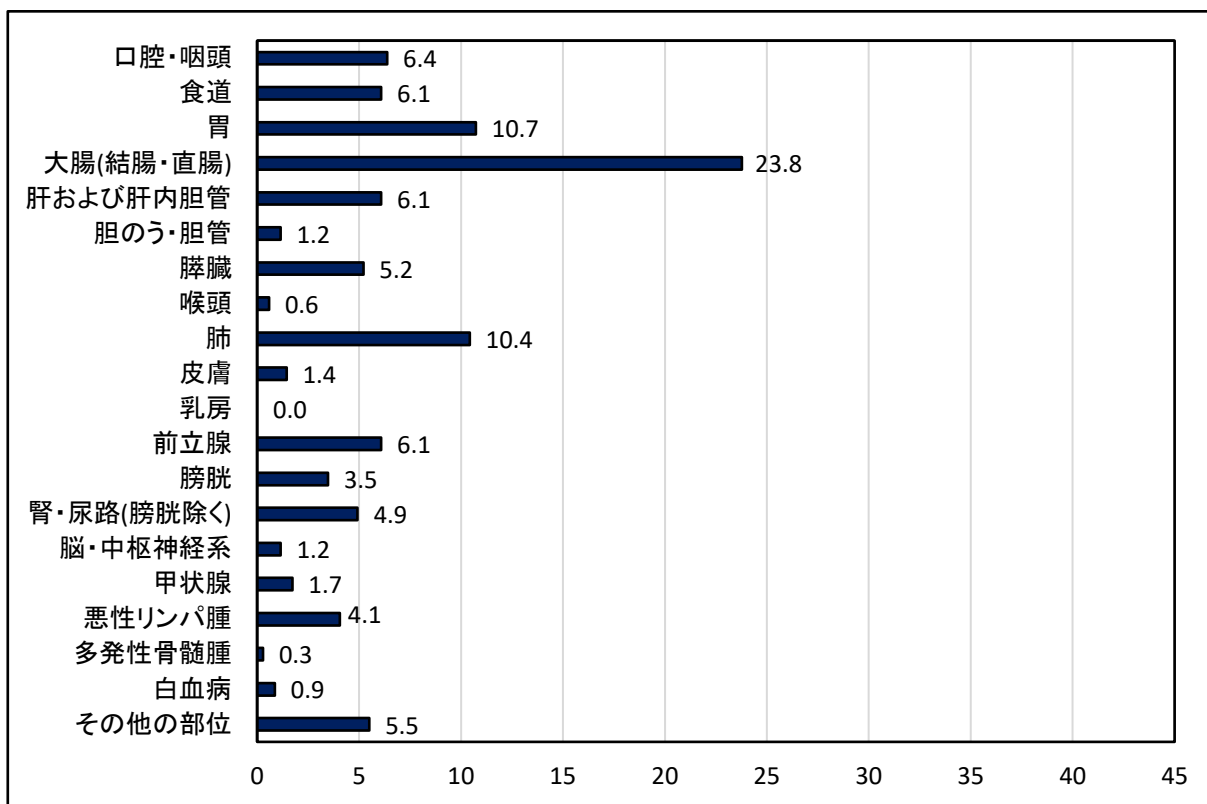


【60-69 歳】

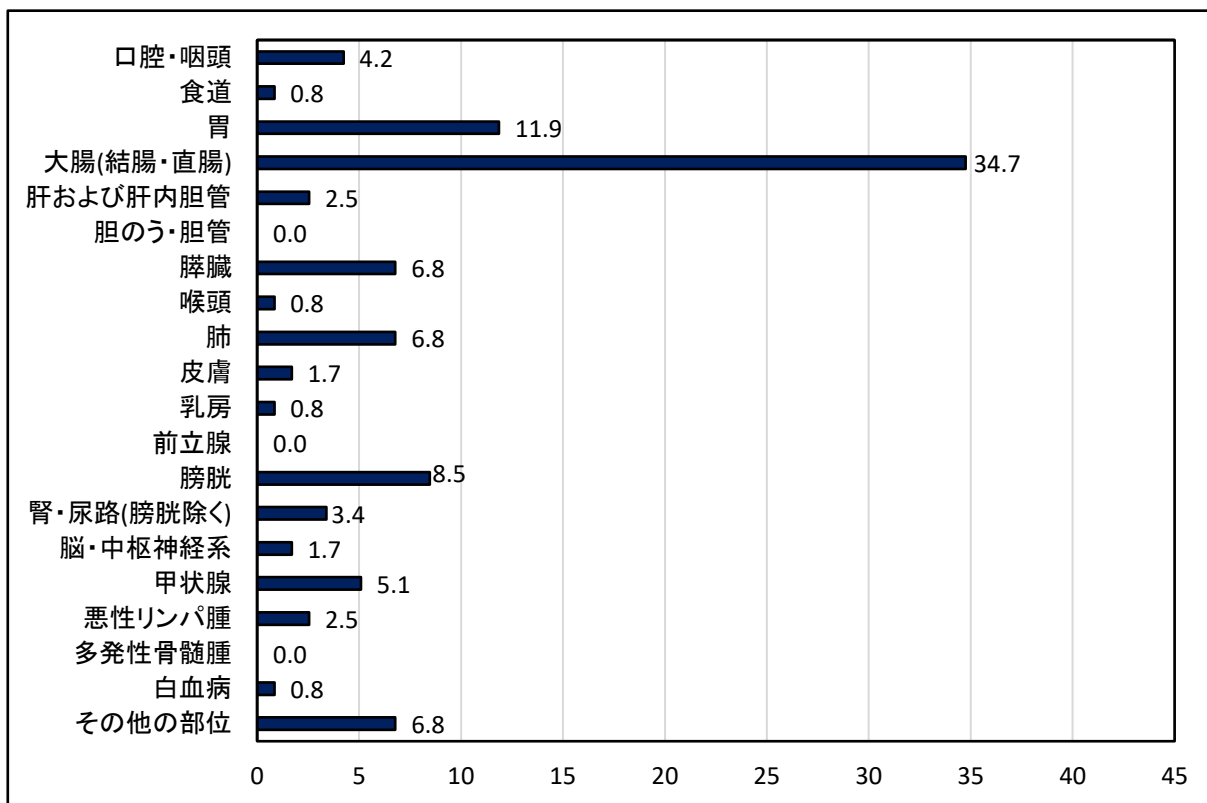


50代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、40代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、膀胱がんの順に高くなっている。

【50-59 歳】

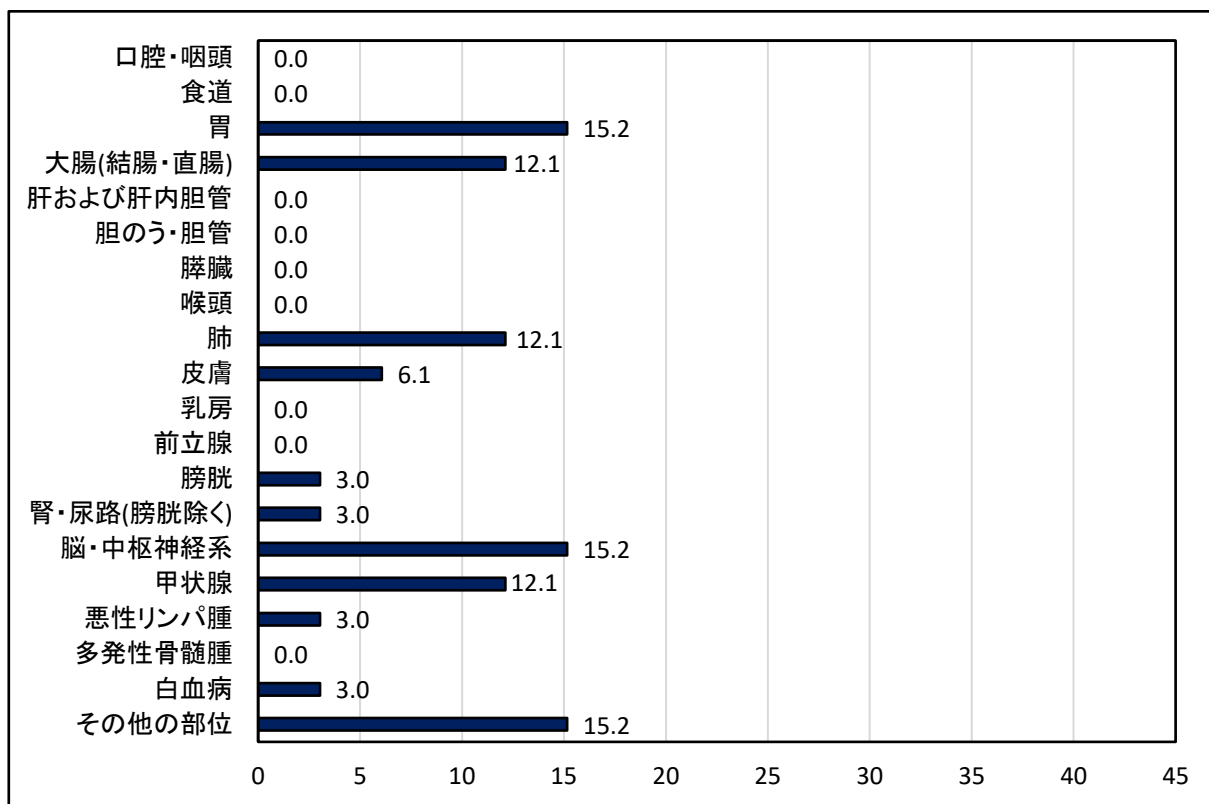


【40-49 歳】

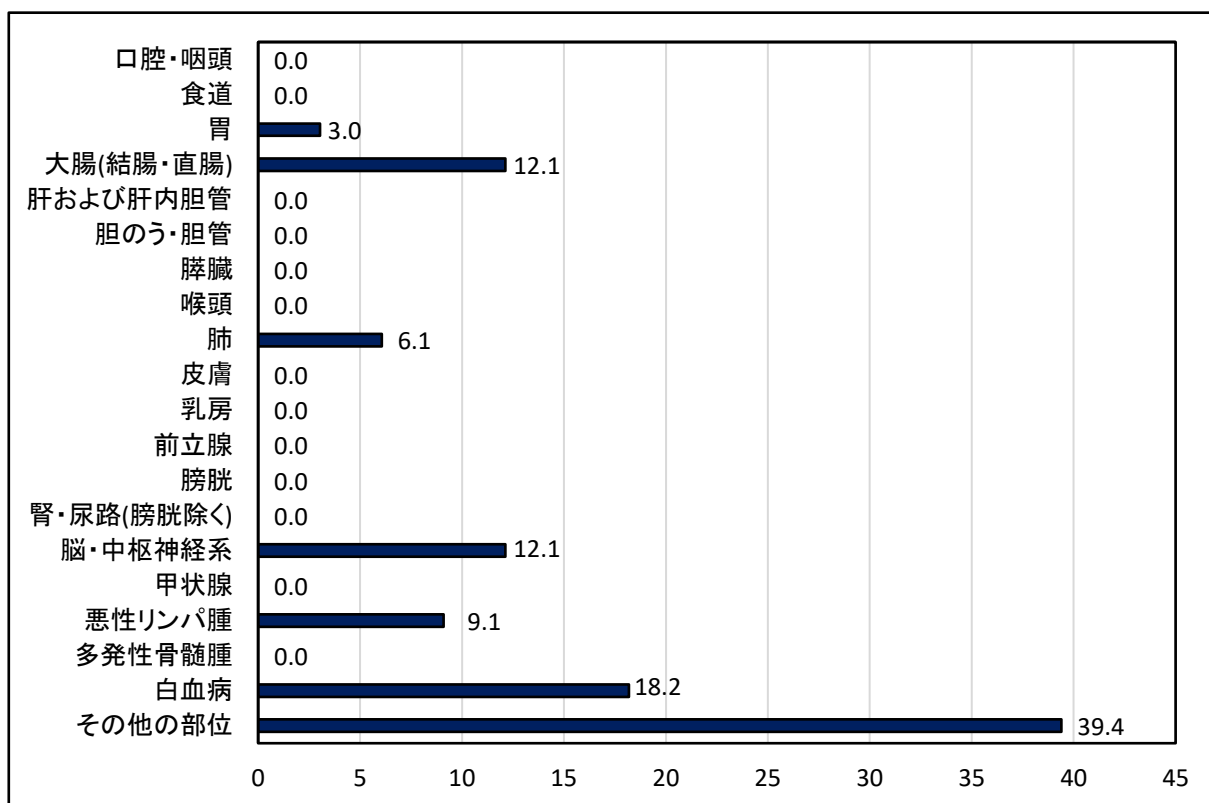


30代は、胃がん、脳・中枢神経系が高い。20代以下では白血病が最も高く、次いで大腸（結腸・直腸）がん、脳・中枢神経系が高くなっている。

【30-39 歳】



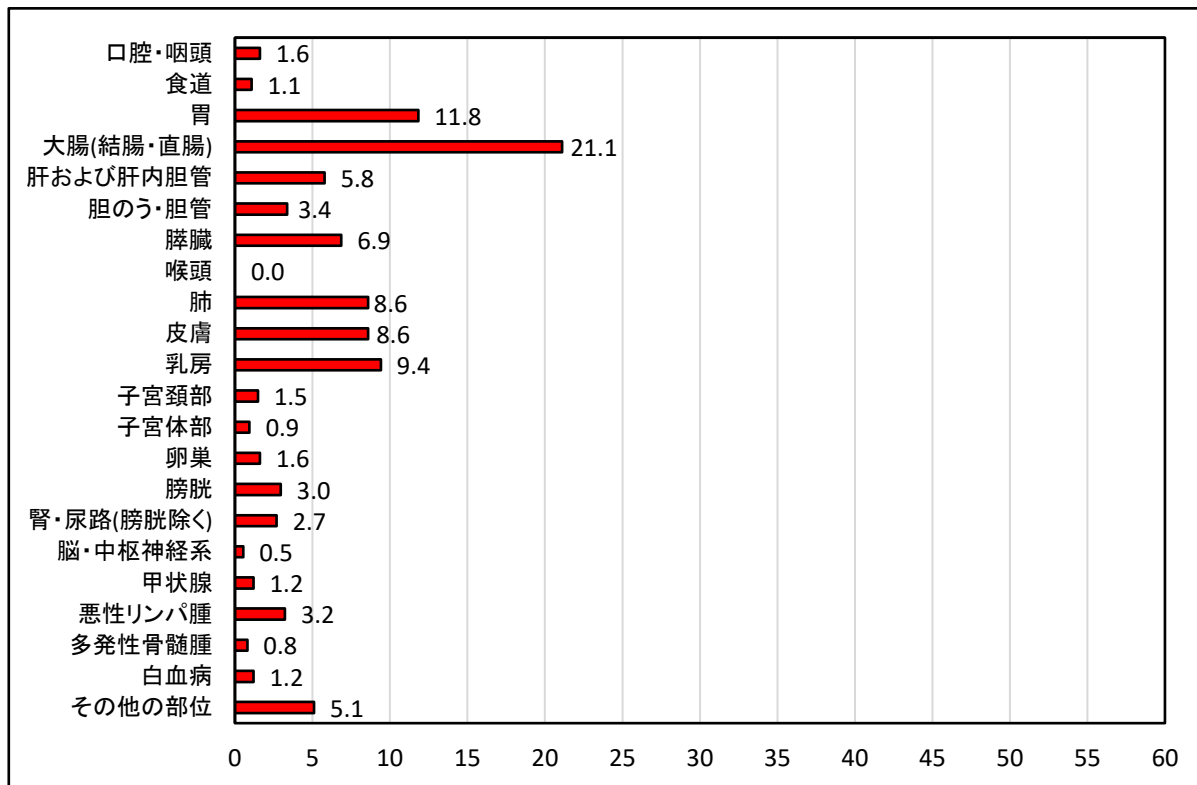
【0-29 歳】



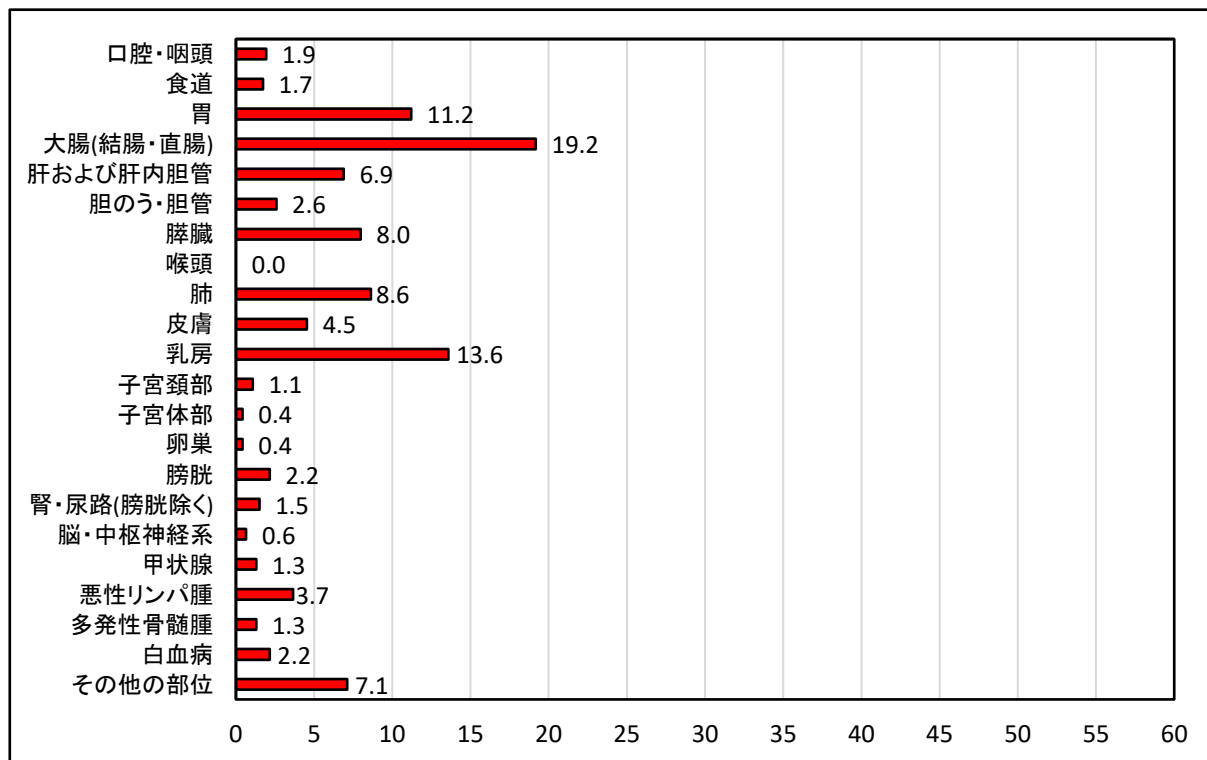
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（女性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、乳がんの順に高く、80-84 歳では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

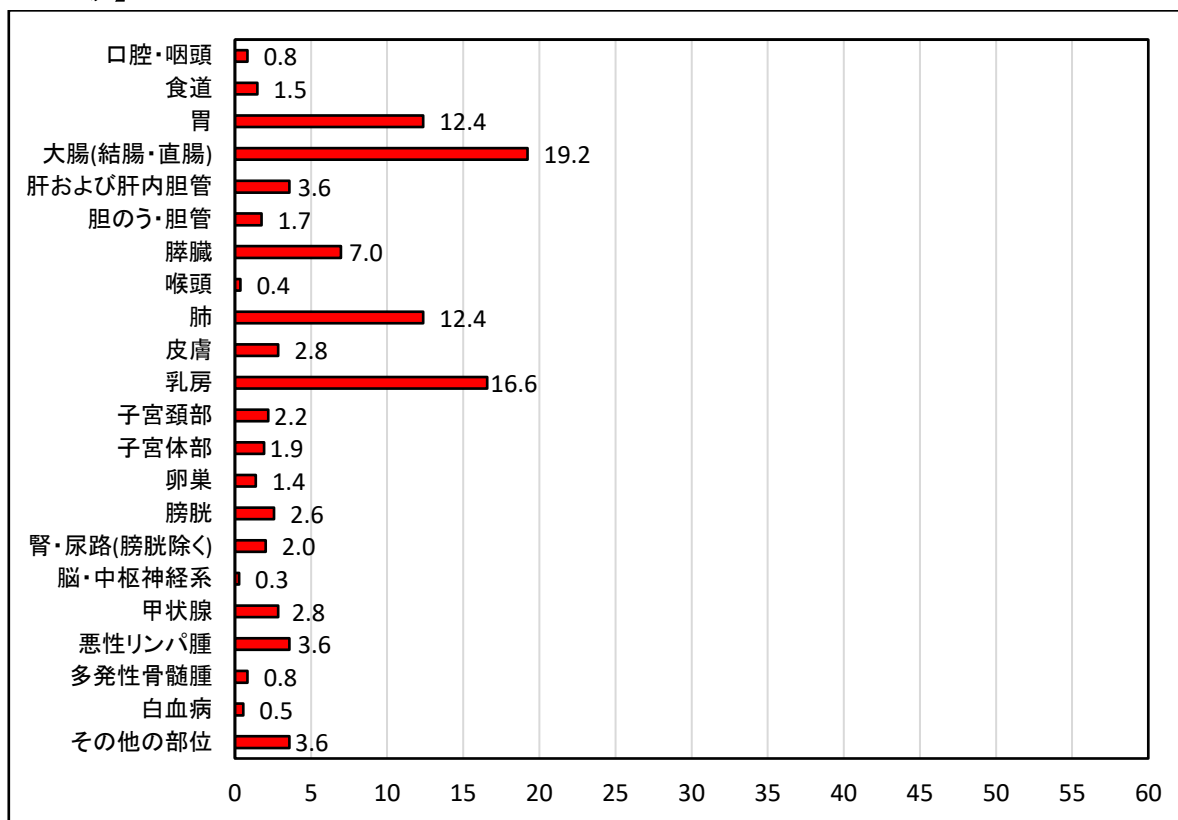


【80-84 歳】

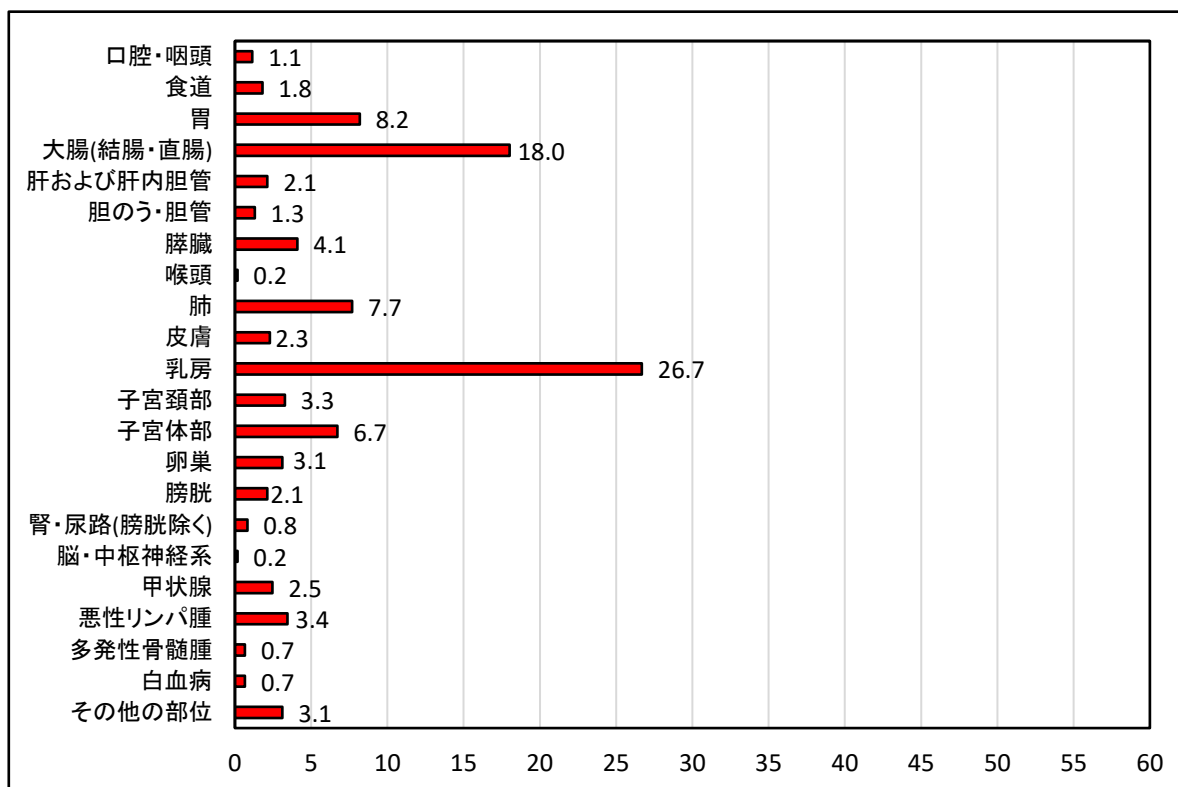


70代では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順で高く、60代では乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、胃がんの順で高くなっている。

【70-79歳】

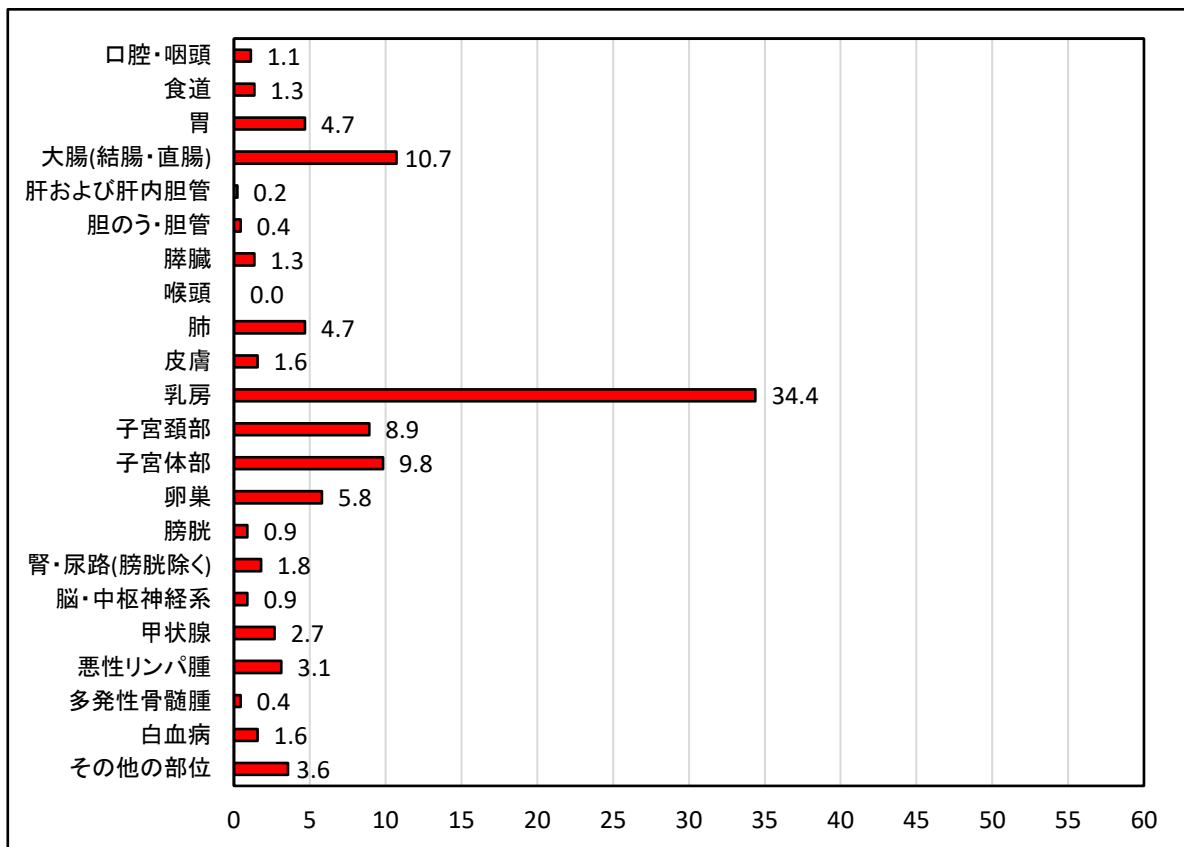


【60-69歳】

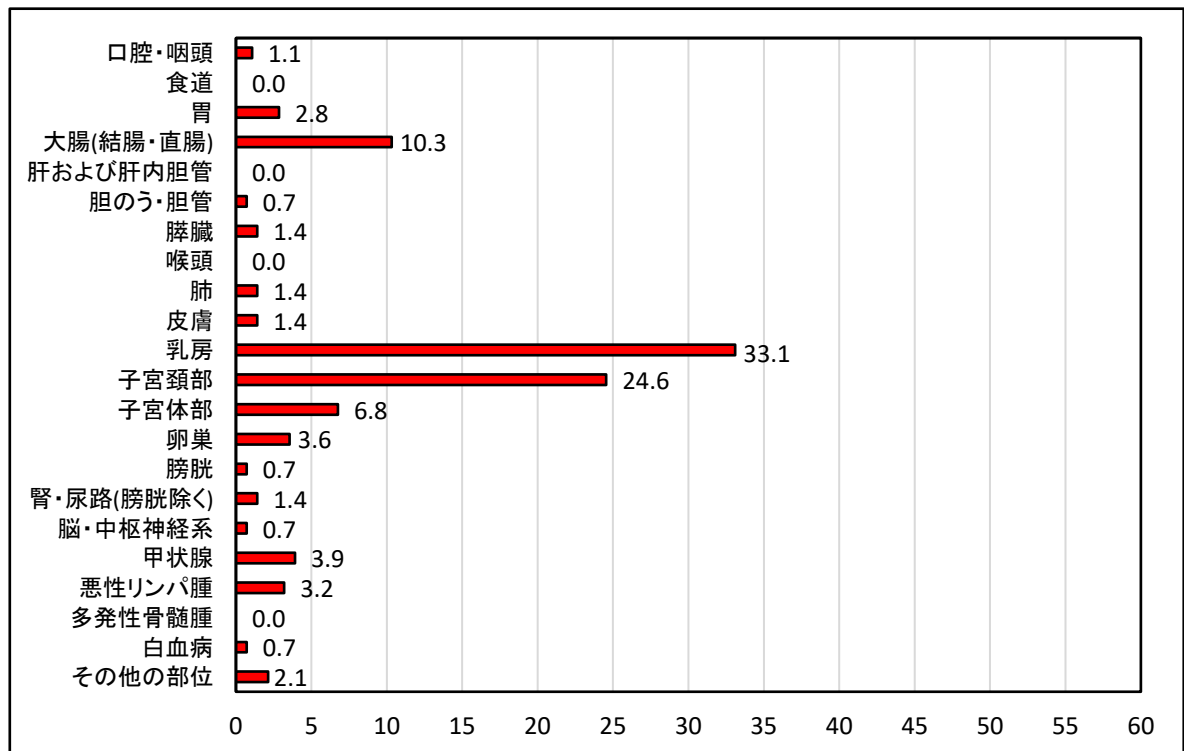


40歳代から50歳代になると、乳がんが最も高くなっており、40代では子宮頸がんも高い。

【50-59歳】

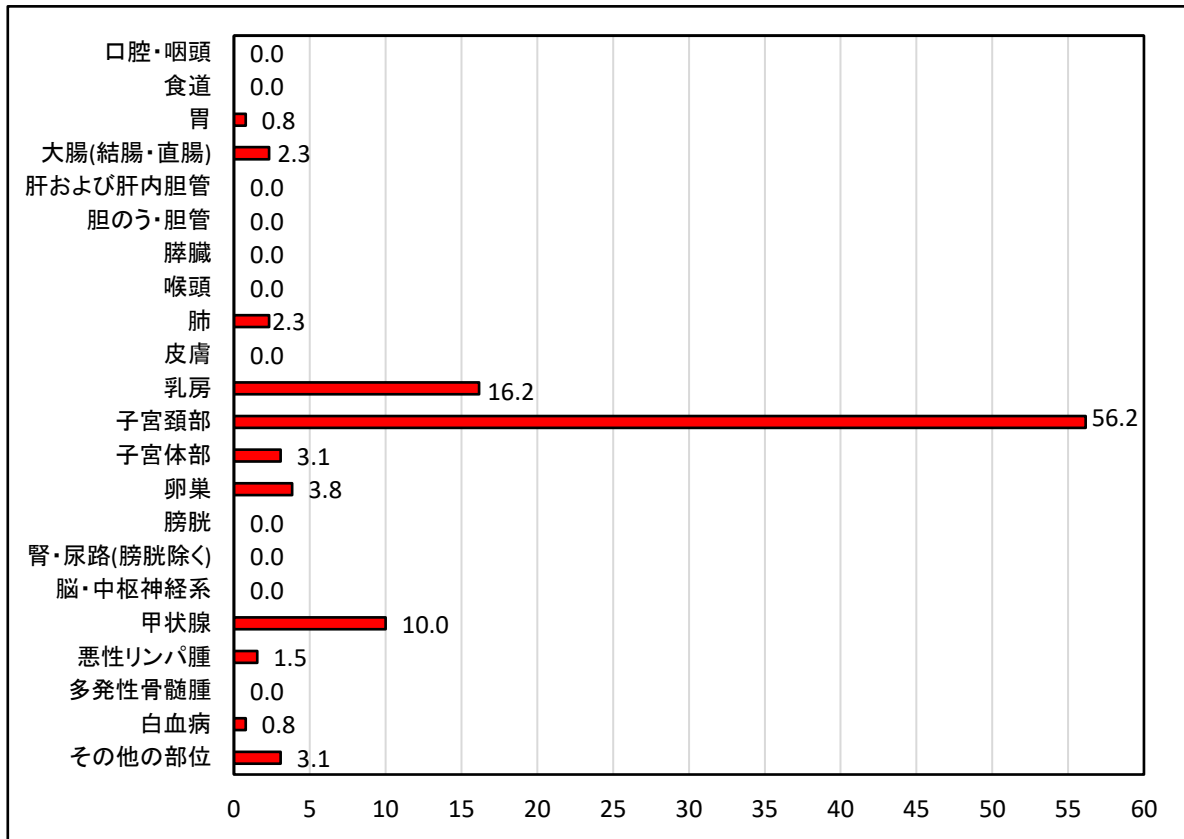


【40-49歳】

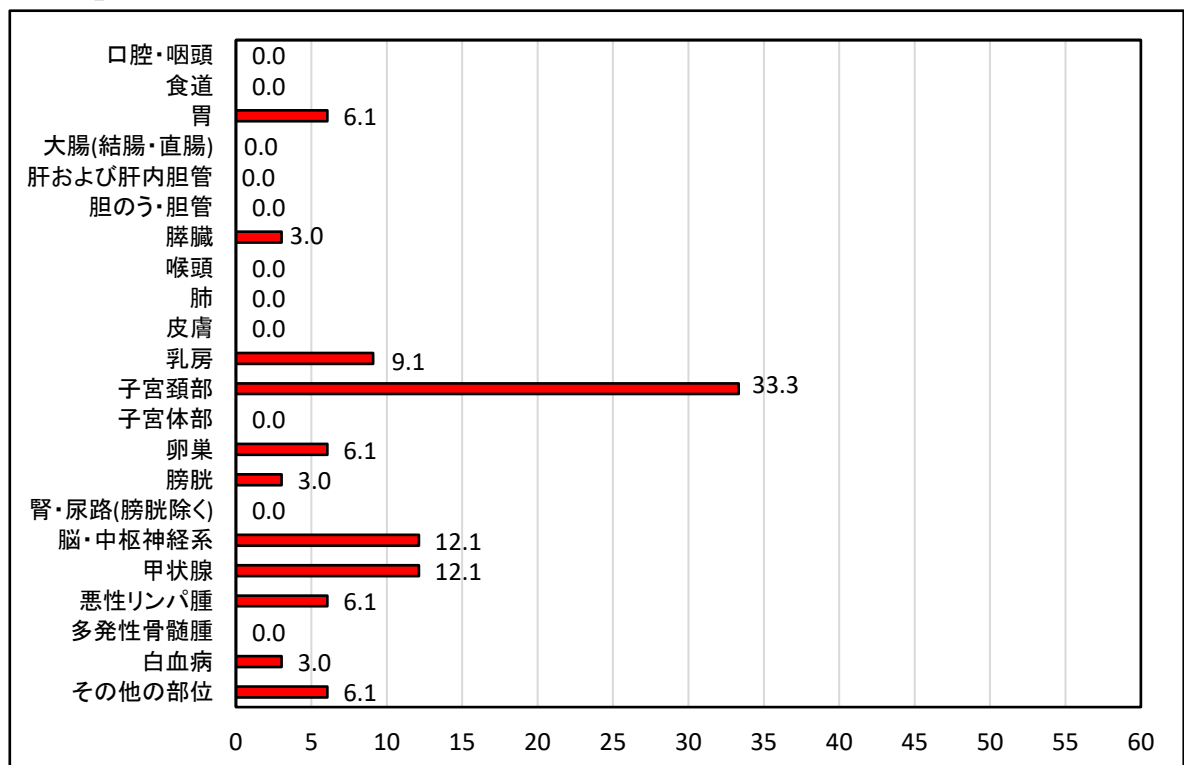


30代と20代以下ともに子宮頸がんが突出して高くなっている。また、30代では乳がん、甲状腺がん、20代以下では甲状腺がん、脳・中枢神経系が子宮頸がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



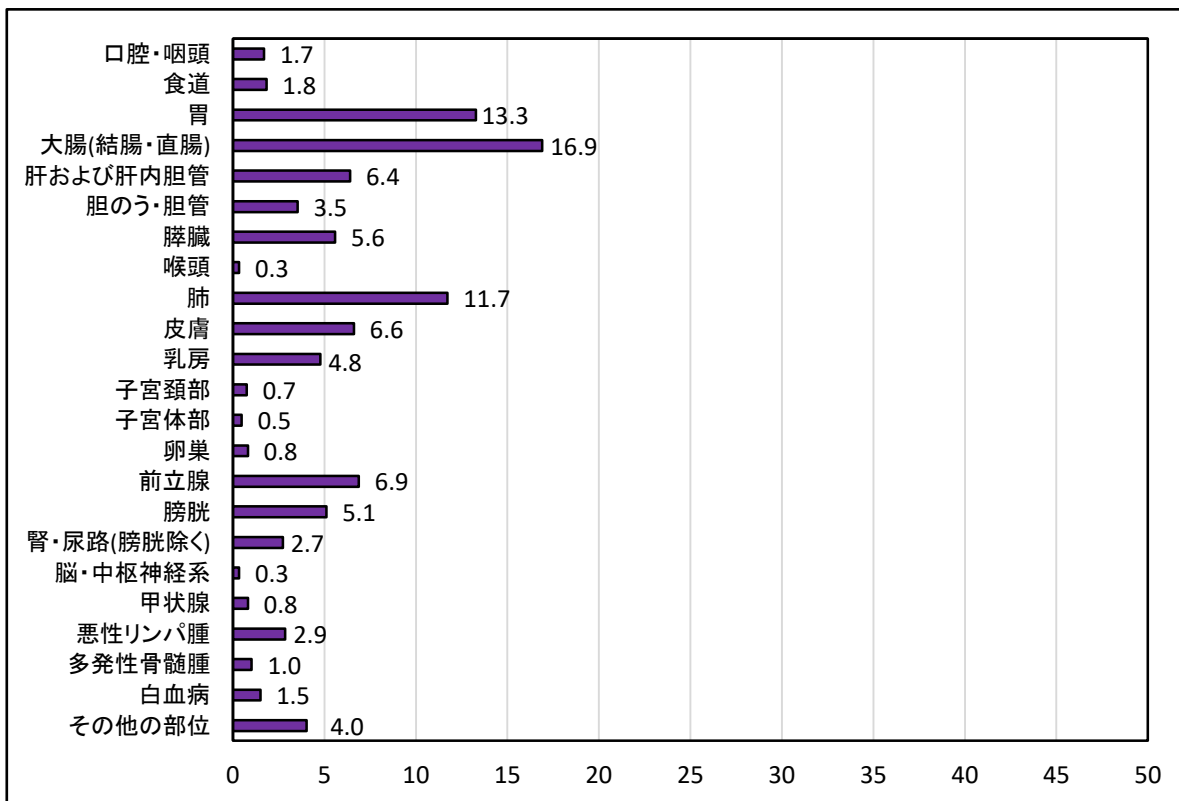
【0-29歳】



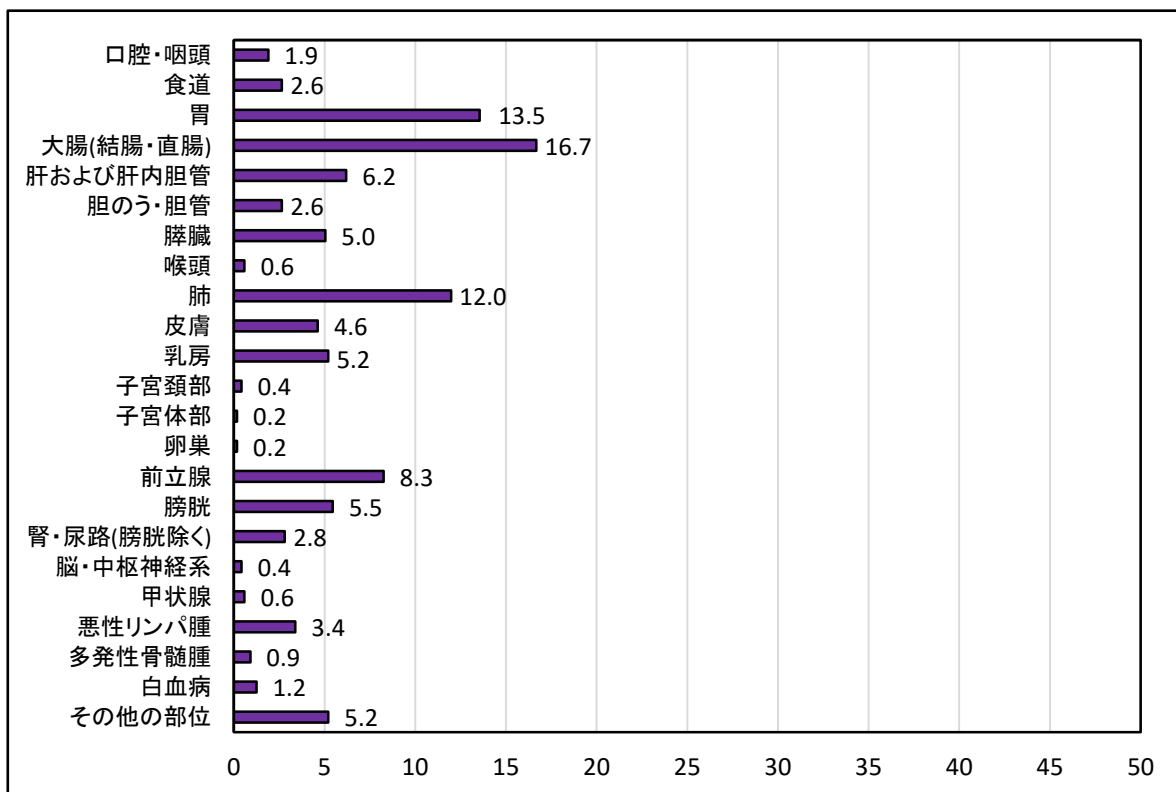
年齢階級別罹患割合(%) : 部位別、性別 (男女計) ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85 歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、80-84 歳でも、大腸がん（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

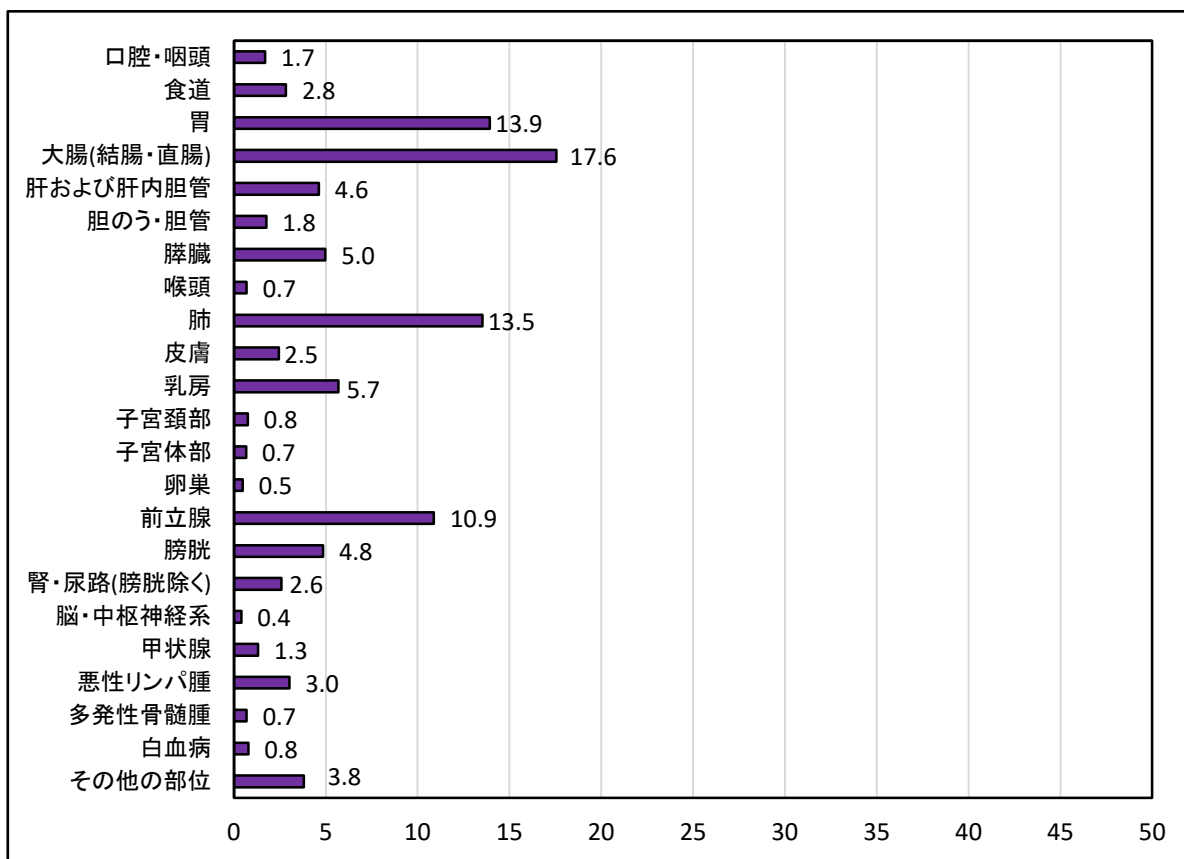


【80-84 歳】

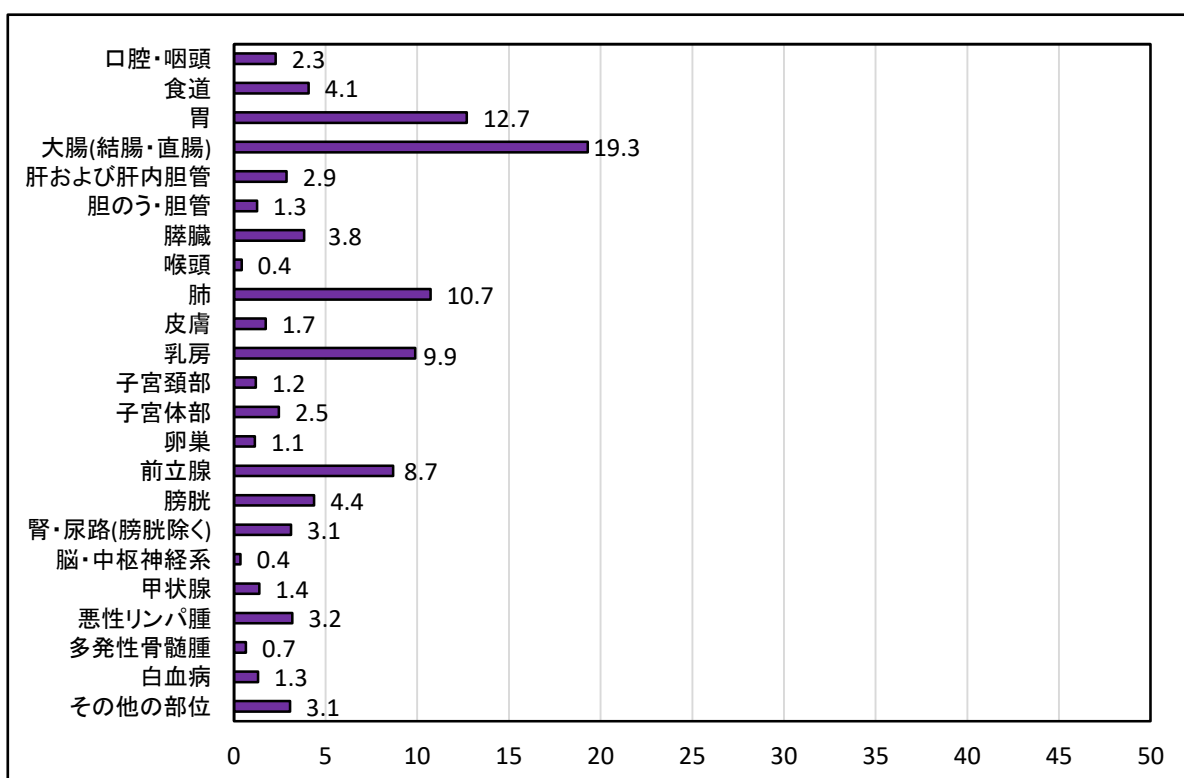


70代では、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、60代でも、大腸がん（結腸・直腸）、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【70-79歳】

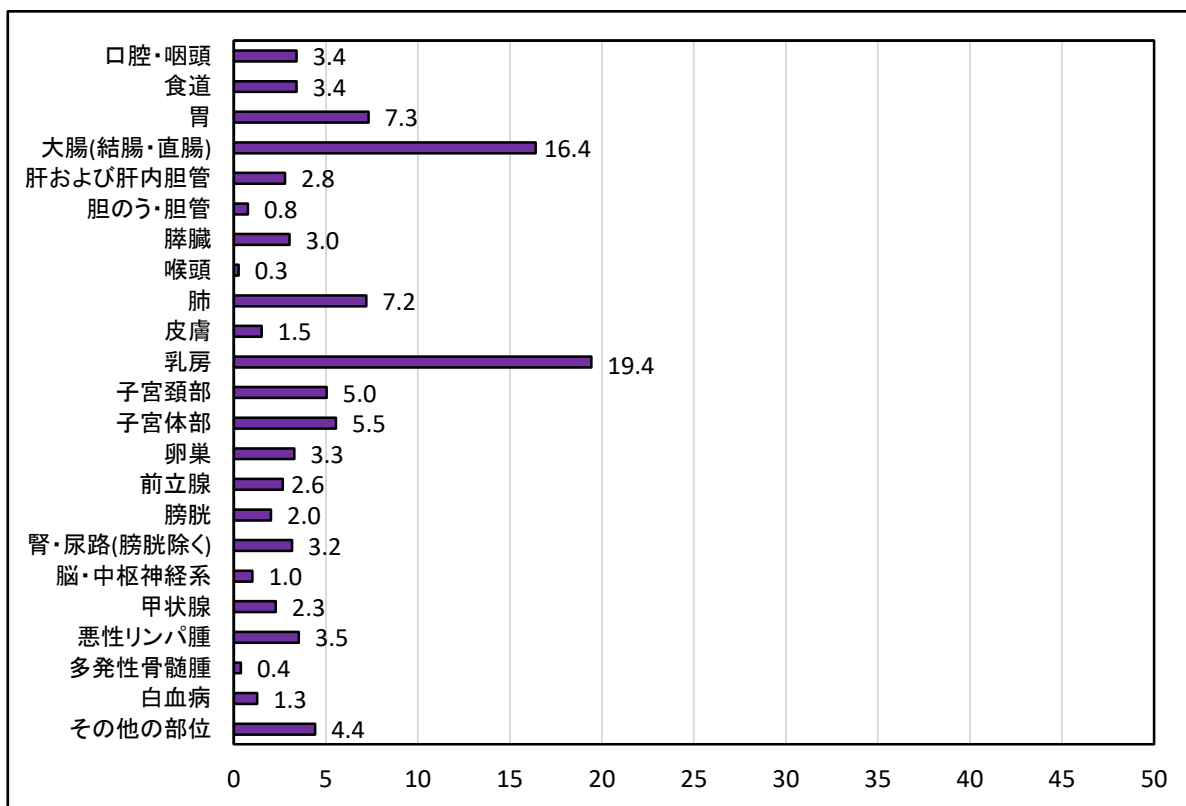


【60-69歳】

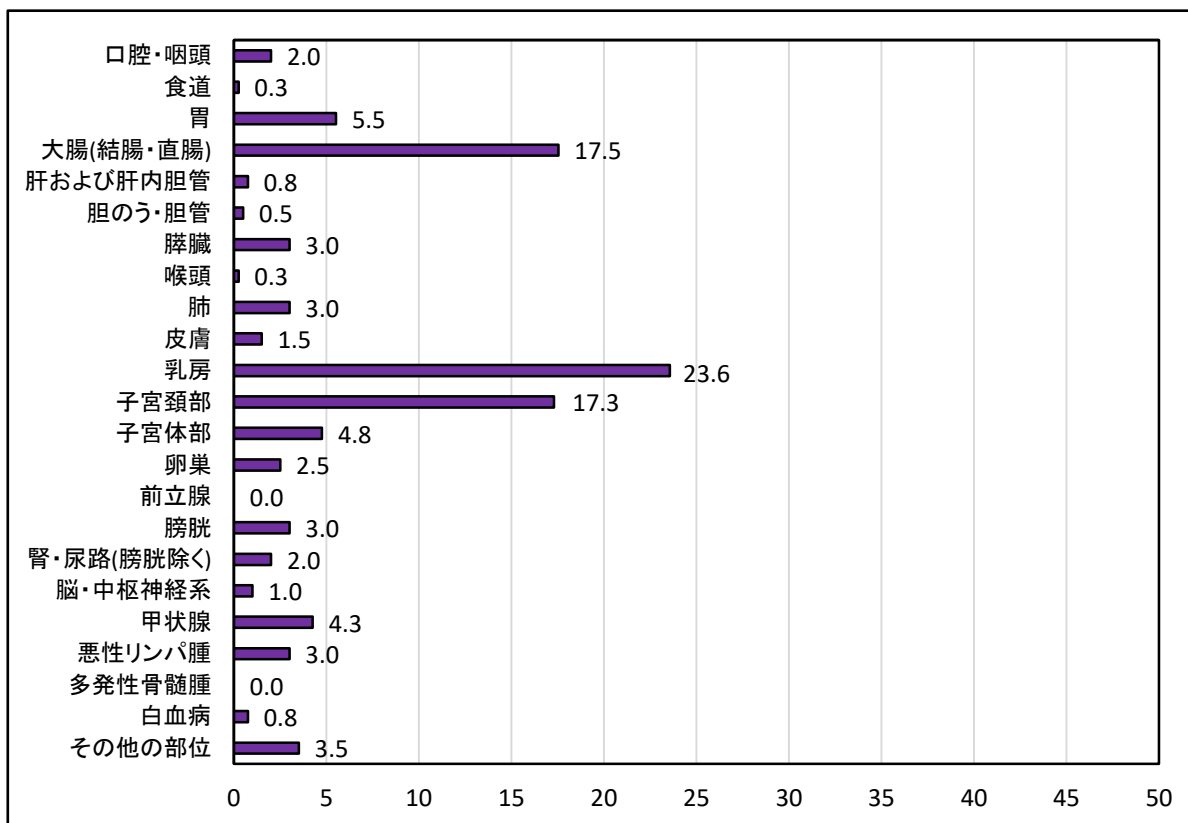


50代では、乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、胃がんの順に高く、40代では乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、子宮頸がんの順に高くなっている。

【50-59歳】

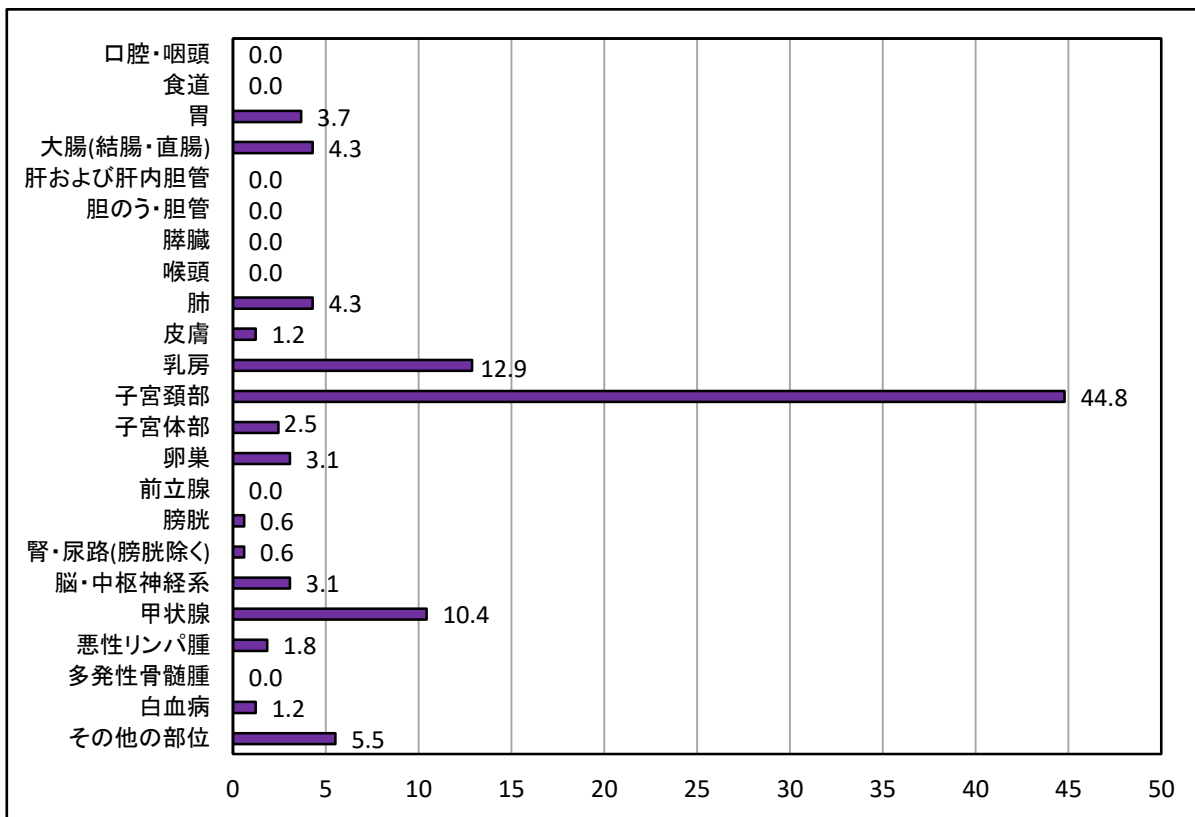


【40-49歳】



30代と20代以下では、子宮頸がんが突出して高くなっている。また、30代では乳がんが、20代以下では脳・中枢神経系が子宮頸がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



【0-29歳】

